

第4期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和2年度進捗状況について

各事業の評価方法（A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点）※目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合（小数点以下、四捨五入）
A 十分達成できた（75%以上） B 概ね達成できた（50%以上75%未満） C やや不十分だった（25%以上50%未満） D 不十分だった（25%未満） - 新型コロナウイルス感染症により評価不能

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちづくり

【目標達成度】		目標達成度が前年度▲13ポイントの理由は、「1 地域福祉に関する情報発信」の評価が前年のB評価から下がったため	
75 (前年度88)			
事業名	評価	評価理由等	
1 地域福祉に関する情報発信	D	市公式Webサイトの「高齢者」分野内のカテゴリ見直し検討が進まなかった	
2 相談支援体制の整備	A	「重層的支援体制整備事業」に係る課題・方針等を地域福祉計画中間見直し追加版に記載した	
3 成年後見制度利用支援事業	A	相談件数の数値目標1,460に対し3,713件の相談が、PR等の活動回数の数値目標10回に対し16回実施	
4 福祉サービス苦情解決事業	-	コロナ禍で千葉県主催の研修と福祉サービス苦情解決事業運営委員会が開催中止となったため評価不能	

基本目標Ⅱ 参加と交流のまちづくり

【目標達成度】		新型コロナウイルス感染症の影響により、「参加」と「交流」が制限された	
64 (前年度79)			
事業名	評価	評価理由等	
5 地域ケアシステム推進事業	C	コロナ禍で地域ケア拠点は業務縮小し実施したが、サロン活動は中止したため	
6 コミュニティワーカー（生活支援コーディネーター）の配置	B	コロナ禍で会議等が中止になったことにより、例年通りの活動が出来なかったため	
7 学校と地域の連携推進	B	コロナ禍であるが、学校運営協議会が情報共有の場として機能しているため	
8 自治（町）会の加入促進	B	令和3年度の加入世帯数が前年度と比較し、減少したため	
9 避難行動要支援者対策事業	A	避難行動要支援者名簿登録者数が目標値を達成したため	
10 福祉避難所	B	福祉避難所マニュアルが未策定であるが、ホームレス対応と要配慮者移送のマニュアルを策定したため	
11 ボランティア・NPO活動に関する情報提供	C	説明会実施により、いちかわ・みんなで支え合いアプリの登録推進にはつながったが、登録数や掲載に至る件数が少ないため	

基本目標Ⅲ 安全とるおいのあるまちづくり

【目標達成度】		住宅改修補助対象工事がどうかについて、制度に対する周知が引き続き必要	
100 (前年度100)			
事業名	評価	評価理由等	
12 住宅改修費の助成事業	A	住宅改修の申請目標値1,240件に対し、1,211件の申請実績があった。申請時に判断困難なケースで現地調査を行い判断した	

基本目標Ⅳ 自立と生きがいづくり

【目標達成度】		コロナ禍もあり、自立相談支援事業における新規相談受件数が増加	
100 (前年度100)			
事業名	評価	評価理由等	
13 生活困窮者自立支援	A	自立相談支援事業における新規相談件数目標値470件に対し、1,737件の相談があった	
14 移動サービスの支援事業	A	福祉有償運送事業者数は前年度より1団体増の8団体となり、事業を継続することができた	

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤づくり

【目標達成度】		目標達成度が前年度▲25ポイントの理由は、「16 地域活動の担い手養成研修」のほか、複数項目で前年度評価を下回ったため	
66 (前年度91)			
事業名	評価	評価理由等	
15 地域福祉の啓発	B	「いちかわ・みんなで支え合いアプリ」を開始したが、検証ができなかったため	
16 地域活動の担い手養成研修	C	コロナ禍で人数制限し研修実施した結果、活動につながる件数が少なかった	
17 相談員育成の支援	D	コロナ禍で相談員や福祉委員を対象とした研修を実施しなかったため	
18 地域活動応援制度の創設・実施	C	コロナ禍で利用、提供に関する問い合わせがなかったため	
19 地域活動拠点の整備	A	公の施設に設置された拠点等及び会議場所を確保し、感染症対策を実施	
20 団地集会所の開放	A	自治会からの申請に対して、すべて使用を許可し、使用料を免除した	
21 地域資源のネットワークづくり	D	コロナ禍でほとんどの会議が中止となり、情報共有が図れなかったため	
22 個人情報適正活用支援	A	地区社協、福祉委員向けの個人情報に関するリーフレットを更新し、Web掲載と配布を行った	

計画全体

